

教育情報の公表について

公的な教育機関として、社会に対する説明責任を果たすとともに、その教育の質を向上させる観点から、本学の基本情報を下記のとおり公表します。

大学の教育研究上の目的に関する情報

<学部、学科、研究科、専攻ごとの教育研究上の目的>

大学

学術の理論と応用を教授研究し、知的道徳的に円満な教養を有する高級技術者を育成することを目的とする。

工学部

工学倫理を身につけた広く社会に貢献できる技術者を育成するため、人間性の向上と想像力の涵養の下に、「ものづくり」に携わる技術者として工学全般に関わる豊かな学識を修め、かつ実践的な技術力及び応用能力を養うことを目的とする。

電気学科

ものづくりに携わる電気・電子情報技術者として必要な基礎及び専門知識の獲得と、健全な倫理観・豊かな人間性を基盤とする科学的な思考に基づいた応用力と実践力の養成を目的とする。

応用化学科

環境に配慮した材料開発、ものづくりに携わる化学技術者として必要な工学全般と基礎学力の養成に加えて実践的な技術力の向上を目的とする。

機械学科

現代社会における「ものづくり」を支える機械技術者として必要な知識と技術を有し、かつ「創造と人間性」に富んだ人材を育成することを目的とする。

社会基盤学科

社会の基盤となる施設の企画・設計・施工・維持管理に関わる各種実務の遂行において、中心的役割を果たす土木技術者を育成することを目的とする。

建築学科

ものづくりに携わる建築技術者として必要な工学全般と基礎学力の養成に加えて実践的な技術力の向上、ものの考え方やまとめ方の習得、コミュニケーション力の養成などを目的とする。

経営学部

科学的な経営能力と正しい経営倫理観を持ち社会変化に柔軟に対応できるビジネス・リーダーを育成するため、ビジネス経営全般に関する基礎的学識を養うものとする。

経営学科

ビジネス経営における専門的な学識育成を目的とし、経営情報システム、スポーツマネジメントに適する職業的ビジネス分野におけるリーダーを育成する。

情報科学部

実践的な情報技術を習得し社会の発展に寄与できる人材を育成するため、情報科学全般に関わる基礎となる豊かな学識を養うものとする。

情報科学科

情報システム及びデジタル・コンテンツ作成に関する知識・技術・技能を有し、コンピュータシステム、メディア情報に適する広範囲の学術的教養を備えた情報技術者を育成する。

工学研究科

工学研究科は、研究能力、柔軟な応用能力を有する研究者、技術者を養成するため、工学全般に関する高度な学識を養うものとする。

博士前期課程

電気電子工学専攻

ものづくりに携わる電気・電子情報分野の高度専門技術者として必要な分析能力と問題解決能力の養成に加えて専門的な技術力の向上を目的とする。

材料化学専攻

ものづくりに携わる材料化学分野の高度専門技術者として必要な分析能力と問題解決能力の養成に加えて専門的な技術力の向上を目的とする。

機械工学専攻

ものづくりに携わる機械分野の高度専門技術者として必要な分析能力と問題解決能力の養成に加えて専門的な技術力の向上を目的とする。

建設システム工学専攻

ものづくりに携わる土木・建築分野の高度専門技術者として必要な分析能力と問題解決能力の養成に加えて専門的な基礎・応用学力の向上を目的とする。

博士後期課程

電気・材料工学専攻

電気・電子システム工学、情報通信システム工学、材料プロセス、デバイス工学及び機能性材料開発工学分野における自立した研究者、技術者として必要な高度な研究能力と柔軟な応用能力の養成に加えて発展的かつ先進的な技術力の向上を目的とする。

生産・建設工学専攻

機械工学、機械システム工学、社会開発工学及び都市建築工学分野における自立した研究者、技術者として必要な高度な研究能力と柔軟な応用能力の養成に加えて発展的かつ先進的な技術力の向上を目的とする。

経営情報科学研究科

ビジネスの高度化・革新を追求し、経営諸科学と情報諸科学の複合的融合によって、論知的思考による分析や問題解決の能力を有する、経営情報科学の高度専門職業人や研究者を養成するため、高度な学識を養うものとする。

博士前期課程

経営情報科学専攻

ビジネス諸問題について、情報技術などの高度な専門知識を活用して、情報を迅速に収集・分析し、適切な問題解決ができる高度専門職業人及び研究者を育成することを目的とする。

博士後期課程

経営情報科学専攻

進化する経営情報科学に関して高度な専門的学術研究を担い、高いビジネス分析力や問題解決力を有する高度専門職業人や、自立して経営情報科学研究に邁進する研究者を育成することを目的とする。